

令和6年度保育所幼稚園等歯科健診結果調査について

東京都多摩府中保健所

1 調査目的

乳幼児期は、生涯を通じた歯科保健対策の出発点として重要な時期です。乳幼児歯科保健対策の基礎資料を得ることを目的に、東京都多摩府中保健所管内の乳幼児のむし歯(う蝕)有病状況を毎年調査しています。

2 対象

対象は多摩府中保健所管内(武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、狛江市)の認可保育所286園、東京都認証保育所・認定こども園等の保育施設55園、幼稚園66園。合計407園。

3 調査対象期間

令和6年度(令和6年4月1日から令和7年3月31日)に各園で実施された歯科健診。

4 調査方法

調査用紙を郵送し、FAX及びメールで回答受理。回答のあった332園28,685人について検討しました。

5 調査結果について

(1)回答数

407園のうち357園が歯科健診を実施し、そのうち332園から歯科健診結果の回答がありました。

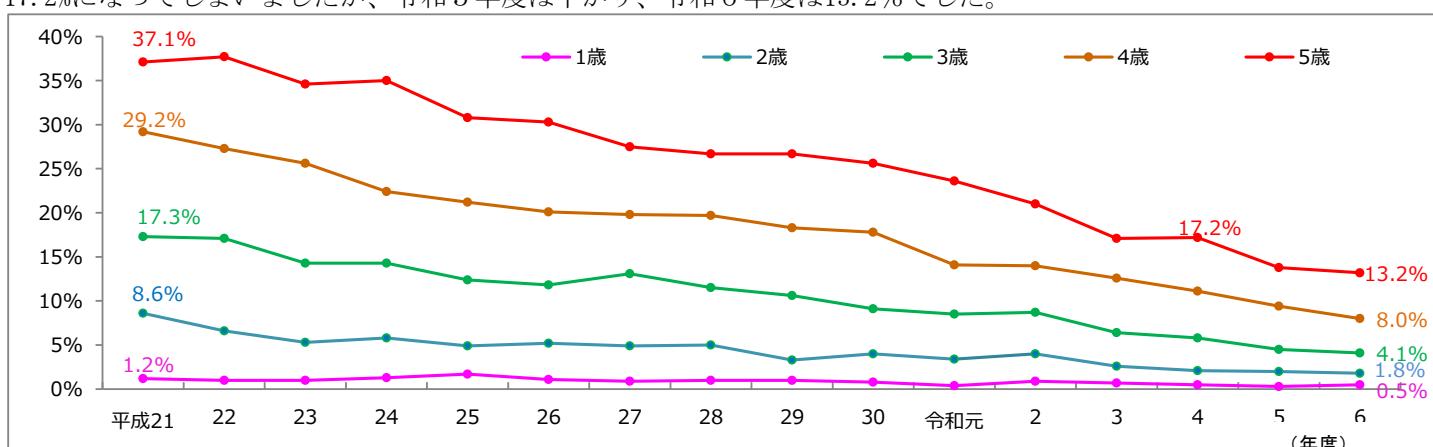
	対象園数	回答園数	回答率	健診実施園数	実施園回答率
6市の全園合計	407	332	81.6%	357	93.0%

(2)歯科健診受診者数

年齢クラス	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	合計
人数	1,364人	3,282人	4,115人	6,189人	6,673人	7,062人	28,685人

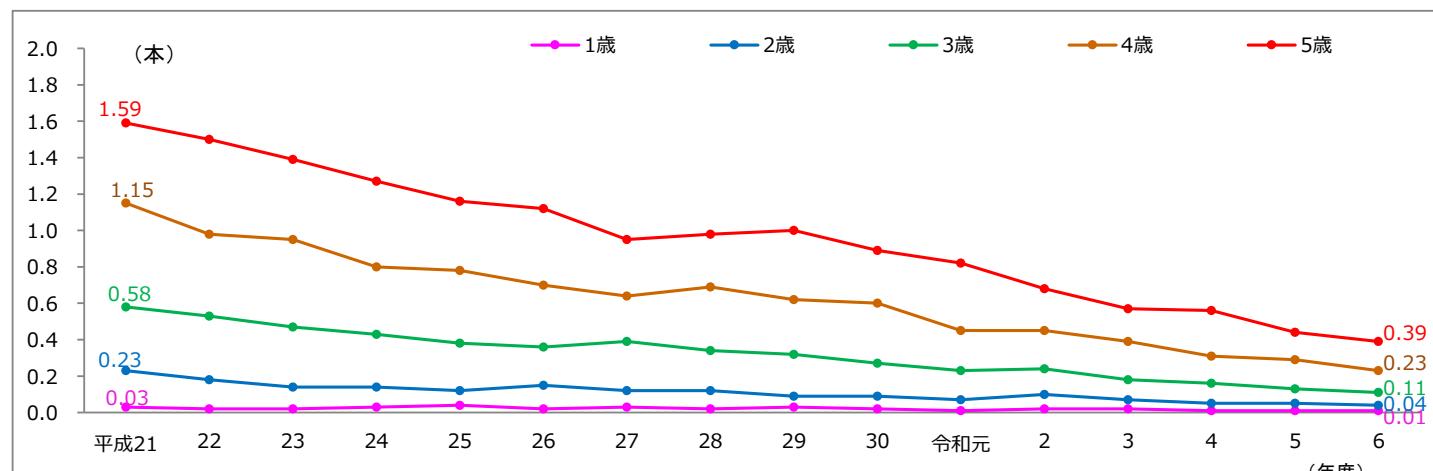
(3)乳歯のむし歯(う蝕)がある者の割合の年次推移

乳歯のむし歯(う蝕)がある者の割合を年次推移でみてみると、年度によって多少の増減はありますが、全体としてみると各年齢クラスともむし歯(う蝕)は減少しています。令和4年度の5歳児クラスは前年度より上がってしまい、17.2%になってしまいましたが、令和5年度は下がり、令和6年度は13.2%でした。



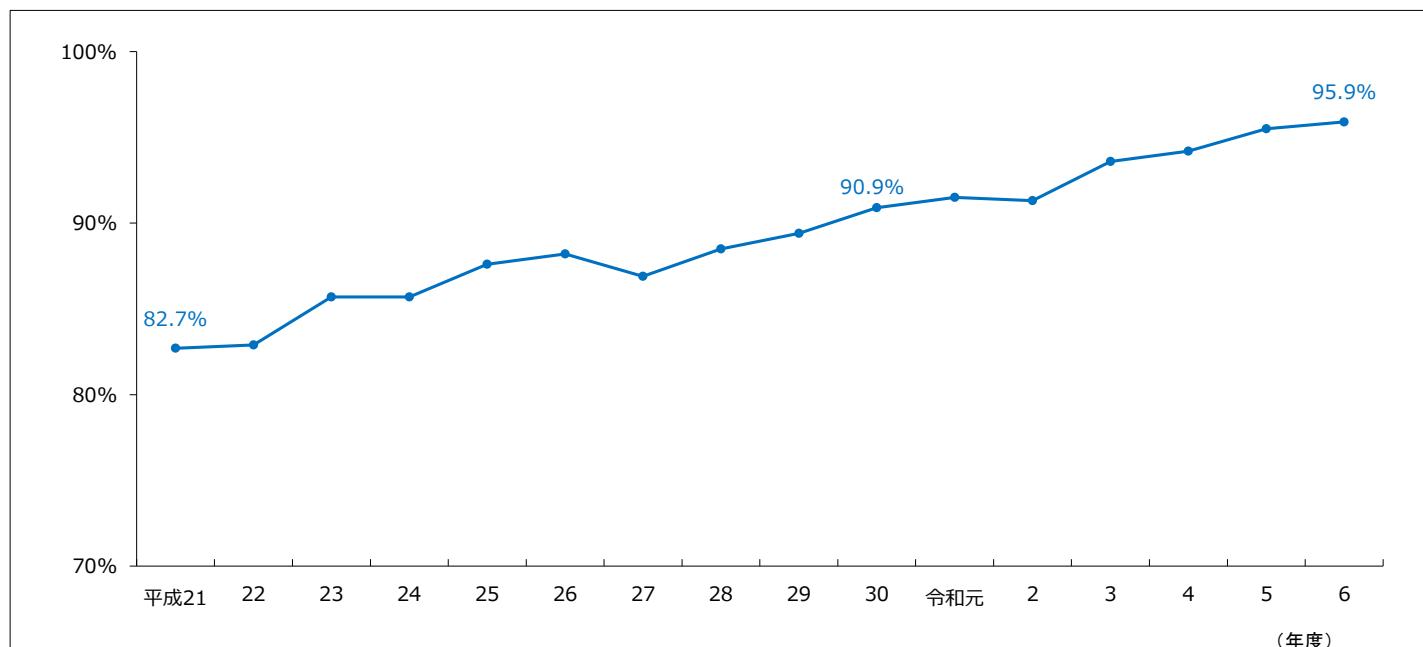
(4)乳歯の一人平均のむし歯(う蝕)の本数の年次推移

乳歯の一人平均のむし歯(う蝕)の本数を年次推移でみてみます。年度によって多少の増減はありますが、全体としてみると各年齢クラスともむし歯(う蝕)の本数は減少しています。



(5)むし歯(う蝕)のない者の割合(3歳児)の年次推移

「むし歯(う蝕)のない者」とは、今まで一度もむし歯になったことがない者のことです。むし歯治療を完了した者は「むし歯のない者」には含まれていません。年次推移をみてみると、むし歯(う蝕)のない者は増加しており、令和6年度は95.9%になりました。



(6)受診者全体の一人平均むし歯(う蝕)の本数とむし歯がある子どもの一人平均むし歯(う蝕)の本数の比較（乳歯）

乳歯において、受診者全体の一人平均のむし歯(う蝕)の本数は0.01本～0.39本で、どの年齢クラスも1本にも満たないですが、むし歯(う蝕)のある子どもの一人平均のむし歯(う蝕)の本数は、5歳児クラスでは2.98本で全体平均0.39本の7倍となっています。言い換えると、「5歳児クラスでは、13.2%の子どもには一人平均2.98本のむし歯(う蝕)がある」といえます。

年齢	A受診者数(人)	Bむし歯がある子どもの人数(人)	むし歯有病者率B/A(%)	C全体のむし歯の数(本)	一人平均のむし歯の数C/A(本)	むし歯のある子どもの一人平均のむし歯の数C/B(本)
1歳児	3,282	15	0.5%	49	0.01	⇒ 3.27 327倍
2歳児	4,115	74	1.8%	176	0.04	⇒ 2.38 59倍
3歳児	6,189	253	4.1%	688	0.11	⇒ 2.72 24倍
4歳児	6,673	535	8.0%	1,518	0.23	⇒ 2.84 12倍
5歳児	7,062	935	13.2%	2,785	0.39	⇒ 2.98 7倍

(7)永久歯がはえている者の割合

5歳児クラスで約30%に永久歯がはえています。4歳児クラスにも永久歯がはえている者が1.5%100人います。しかしながら、まだはえたての永久歯ですが、むし歯(う蝕)になってしまった者がいます。

年度	クラス	受診者数(人)	永久歯がはえている者(人)	永久歯がはえている者の割合(%)	永久歯のむし歯経験者数(人)	永久歯のむし歯経験者割合(%)
令和5年度	4歳児	7,032	95	1.4%	1	0.01%
	5歳児	7,572	2,249	29.7%	17	0.22%
令和6年度	4歳児	6,673	100	1.5%	1	0.01%
	5歳児	7,062	1,988	28.2%	19	0.27%